

肺胸膜炎



～肺胸膜炎とは～

アクチノバチルスという細菌に感染した豚のくしゃみや接触により広がっていきます。また、他の原因で起きた病気を悪化させる原因にもなります。

肺胸膜炎になると肺に線維素が付着し、写真2のような病変がみられます。ひどくなると写真3のように横隔膜と癒着することもあります。

～食肉検査では～

肺胸膜炎の病変があると肺は廃棄されます。また、横隔膜と癒着している場合は横隔膜も廃棄されます。肺胸膜炎が主な原因で全部廃棄になることはありません。

～予防・対策～

飼養管理の改善、特に密飼い、換気の改善をしましょう。

予防には、ワクチン接種を行いましょう。この場合、農場で流行している型にあったワクチンを選択するようにします。すべての型に有効なワクチンもあります。

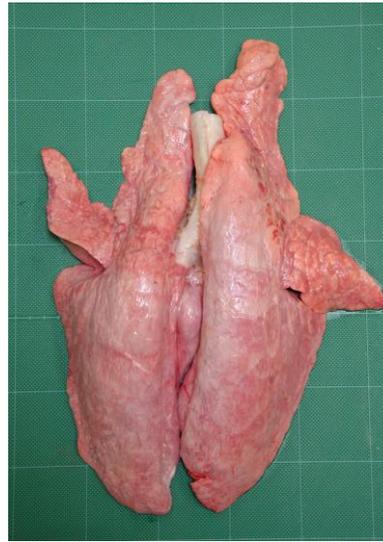


写真1
正常な肺

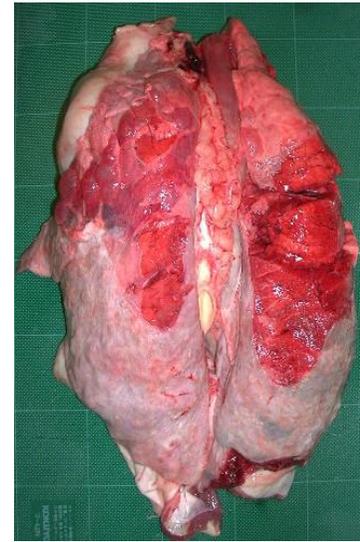


写真2
肺胸膜炎の肺



写真3
横隔膜と癒着をおこしている肺胸膜炎

当所における肺胸膜炎による肺の廃棄率

	牛		豚	
	H27	H28	H27	H28
検査頭数(頭)	28,607	31,407	187,896	180,933
廃棄頭数(頭)	2,274	1,959	35,429	31,136
廃棄率(%)	7.9	6.2	18.9	17.2

リーフレットの内容に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

北海道東藻琴食肉衛生検査所

TEL 0152-66-2001 FAX 0152-66-3576

HP <http://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/ds/hse>